

報告事項（2）

資料2

令和元年度の市内公共交通利用者数について（更新版）

1. 黒部市内公共交通の概要

- ・黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道、市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線が骨格となり、地域の状況に応じたバス路線、コミュニティタクシー、デマンド交通によるネットワークが形成されています。
- ・市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行しています。
- ・平成27年度以降、黒部市地域公共交通網形成計画に基づいて路線バス、デマンドタクシーの新設及び見直しや社会実験が行われ、平成30年度は、10月から南北循環線の一部を減便しました。
- ・令和元年度は、一部の路線について、効率的な運行に向けて、ルートや運行形態の見直しを行い、令和2年度からの効率的な運行に向けて、改善を行いました。

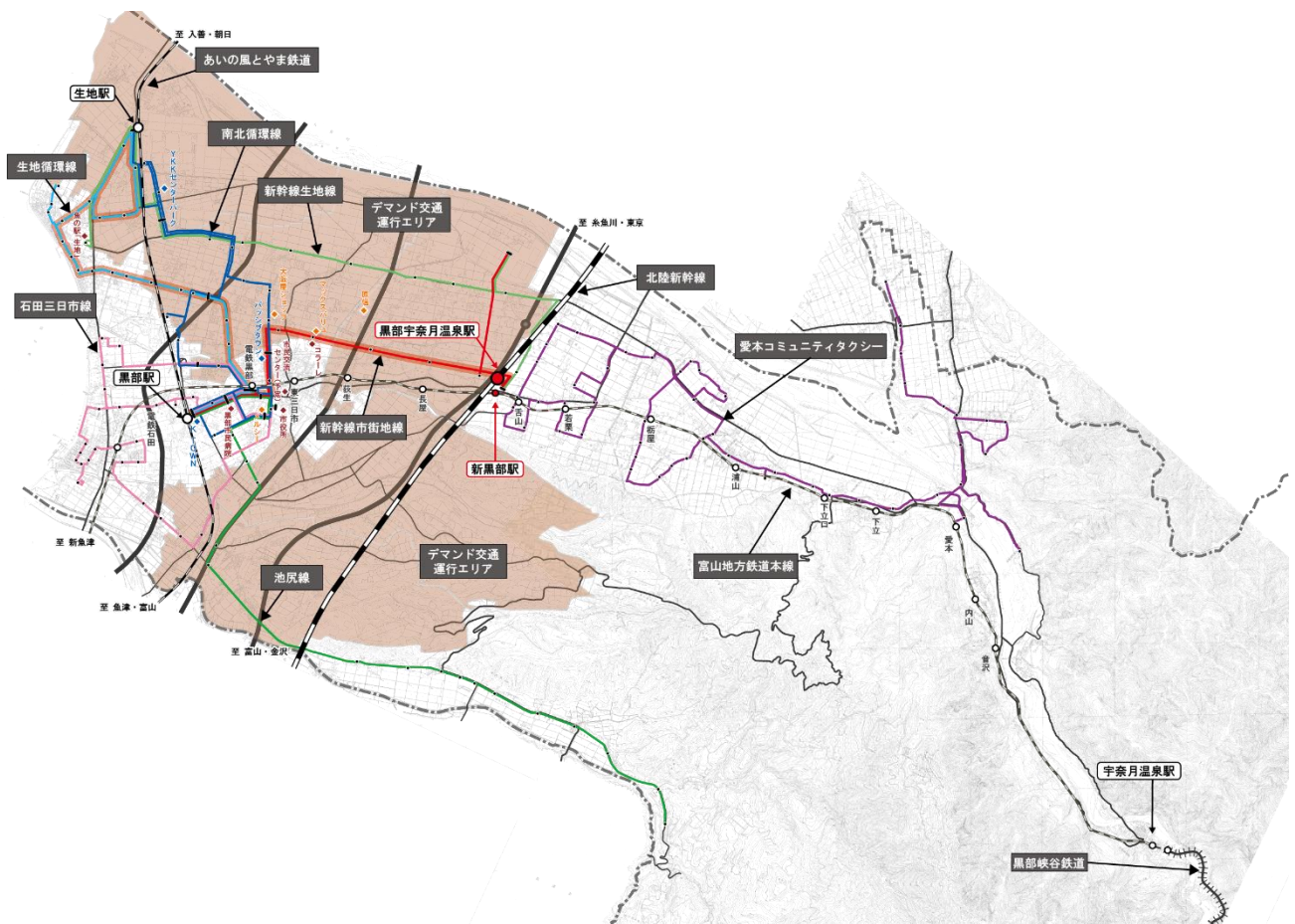


図 黒部市の公共交通網(令和2年3月末時点)

2. 黒部市内公共交通の利用状況

（１）【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用状況を把握するため、乗降調査を行いました。

実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査

実施時間：６時～２２時台（終電到着後一定時間まで）

- ・昨年同時期の乗降人数と比較すると５月２日、６月２０日、６月２３日、１１月１４日については、乗降客数が同年度より上回っています。
- ・平成３０年度同時期の乗降人数を下回った令和元年度調査日のうち１１月３日は台風１９号、２月９日は新型コロナウイルスの影響であると考えられます。
- ・平日はビジネス乗降割合が高い傾向が続いています。お盆直前の調査（８月９日調査）ではビジネス乗降割合が他時期と比較して低くなっています。
- ・帰省シーズンに乗降人数が多く、５月２日と８月９日は一日あたりの乗降人数が３,０００人以上となっています。

調査日	令和元年度							H30 同期 乗降人数	乗降人数 対 H30 割合 (R1/H30)	H29 同期 乗降人数	乗降人数 対 H29 割合 (R1/H29)	備考 昨年度 実施日
	乗車 人数 (a)	うち ビジ ネス	降車 人数 (b)	うち ビジ ネス	乗降 人数 (a+b)	うち ビジ ネス	ビジ ネス 割合					
令和元年 ５月２日 (木・祝)	1,673	45	1,727	27	3,400	72	2.1%	3,259	104.3%	3,641	93.4%	平成 30 年 ５月 3 日 (木・祝)
令和元年 ６月 20 日 (木)	751	275	852	306	1,603	581	36.2%	1,510	106.2%	1,581	101.4%	平成 30 年 ６月 21 日 (木)
令和元年 ６月 23 日 (日)	888	69	1,057	69	1,945	138	7.1%	1,820	106.9%	2,070	94.0%	平成 30 年 ６月 24 日 (日)
令和元年 ８月 9 日 (金)	1,253	193	1,778	206	3,031	399	13.2%	3,177	95.4%	3,127	96.9%	平成 30 年 ８月 10 日 (金)
令和元年 １１月 3 日 (日)	1,209	46	1,414	53	2,623	99	3.8%	2,876	91.2%	3,757	69.8%	平成 30 年 １１月 4 日 (日)
令和元年 １１月 14 日 (木)	1,076	422	984	367	2,060	789	38.3%	2,015	102.2%	1,789	115.1%	平成 30 年 １１月 15 日 (木)
令和 2 年 ２月 6 日 (木)	683	330	730	309	1,413	639	45.2%	1,423	99.3%	1,224	115.4%	平成 31 年 ２月 7 日 (木)
令和 2 年 ２月 9 日 (日)	764	32	797	38	1,561	70	4.5%	1,990	78.4%	1,788	87.3%	平成 31 年 ２月 10 日 (日)

（２）【鉄道】 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- ・あいの風とやま鉄道市内駅の日平均乗降客数は、長期的には減少傾向にありますが、平成27年3月の同鉄道開業以降は概ね増加傾向にあります。
- ・黒部駅、生地駅の令和元年度の乗降客数を10年前（平成21年度）と比較すると、黒部駅では約10%、生地駅では約2%の減少となっています。
- ・黒部駅では、平成27年度以降、増加傾向にありましたが、令和元年度で減少に転じています。
- ・一方、生地駅では、平成27年度以降、横ばい傾向が続いています。

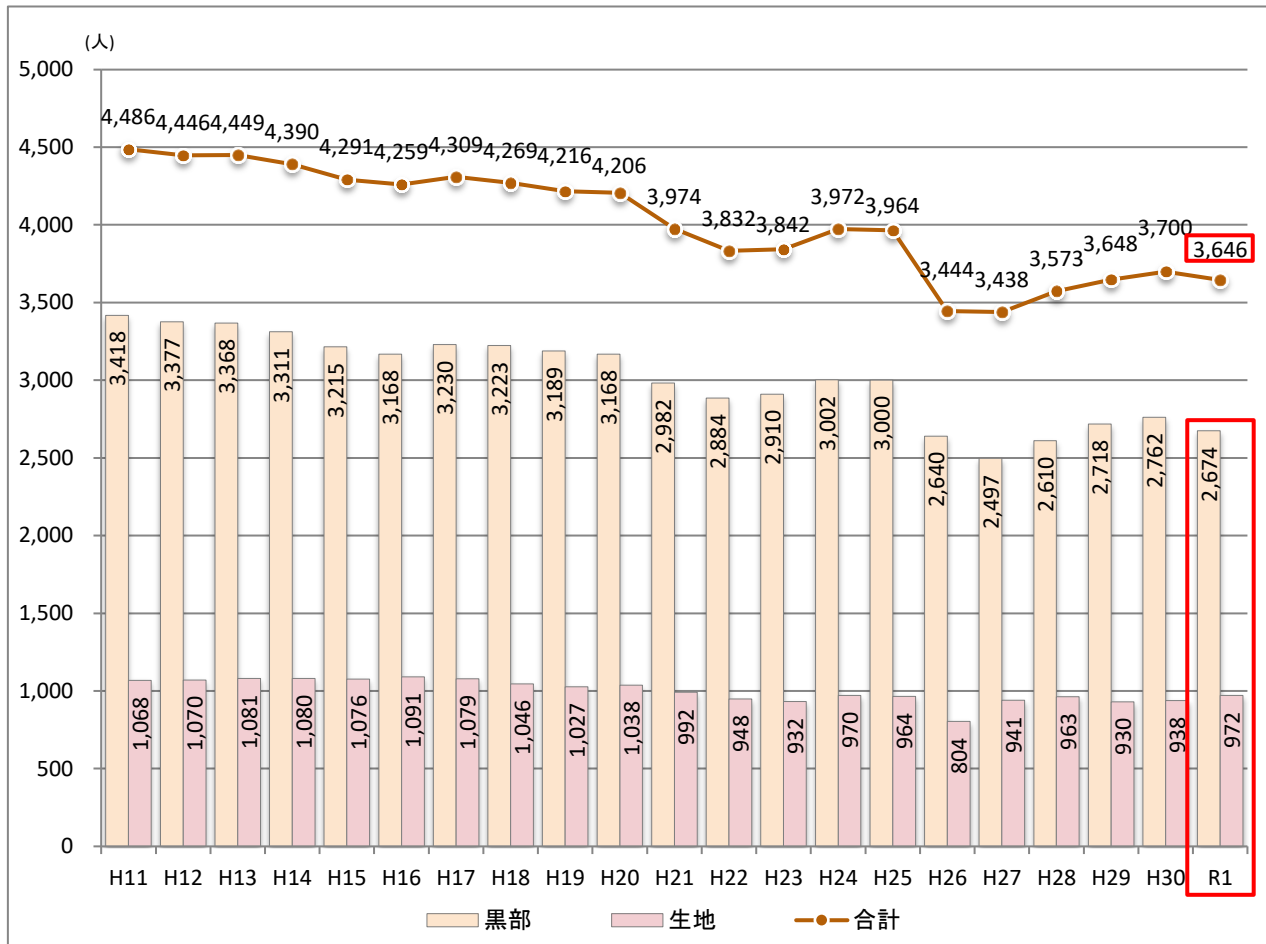


図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の1日あたり乗降客数の推移

表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の1日あたり乗降客数前年比
(出典:平成26年は平成27年3月13日まではJR西日本、平成27年3月14日以降はあいの風とやま鉄道)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
黒部駅	103.7%	98.8%	99.7%	98.3%	97.1%	98.5%	102.0%	99.8%	98.9%	99.3%	94.1%	96.7%	100.9%	103.2%	99.9%	88.0%	94.6%	104.5%	104.1%	101.6%	96.8%
生地駅	97.4%	100.2%	101.0%	99.9%	99.7%	101.4%	98.9%	96.9%	98.2%	101.1%	95.6%	95.6%	98.3%	104.1%	99.4%	83.4%	117.0%	102.3%	96.6%	100.9%	103.6%
合計	102.1%	99.1%	100.1%	98.7%	97.7%	99.3%	101.2%	99.1%	98.8%	99.8%	94.5%	96.4%	100.3%	103.4%	99.8%	86.9%	99.8%	103.9%	102.1%	101.4%	98.5%

※緑色は前年度比で増加を示しています。

（３）【鉄道】 富山地方鉄道本線の利用状況

- ・ 富山地方鉄道本線の日平均乗降客数は、平成 22 年まで減少していましたが、平成 23 年から増加に転じ、北陸新幹線が開業した平成 27 年は大幅に増加しています。一旦、平成 28 年で減少した後は、概ね横ばい傾向が続いていましたが、令和元年は再び減少に転じました。
- ・ 駅ごとの乗降客数では、北陸新幹線開業後、宇奈月温泉駅をはじめとてほとんどの駅で増加し、その後は概ね横ばい傾向が続いていました。しかし、令和元年は全ての駅で前年の乗降客数が減少しており、特に、東三日市駅や荻生駅、長屋駅、下立口駅、電鉄石田駅の減少が顕著となっています。

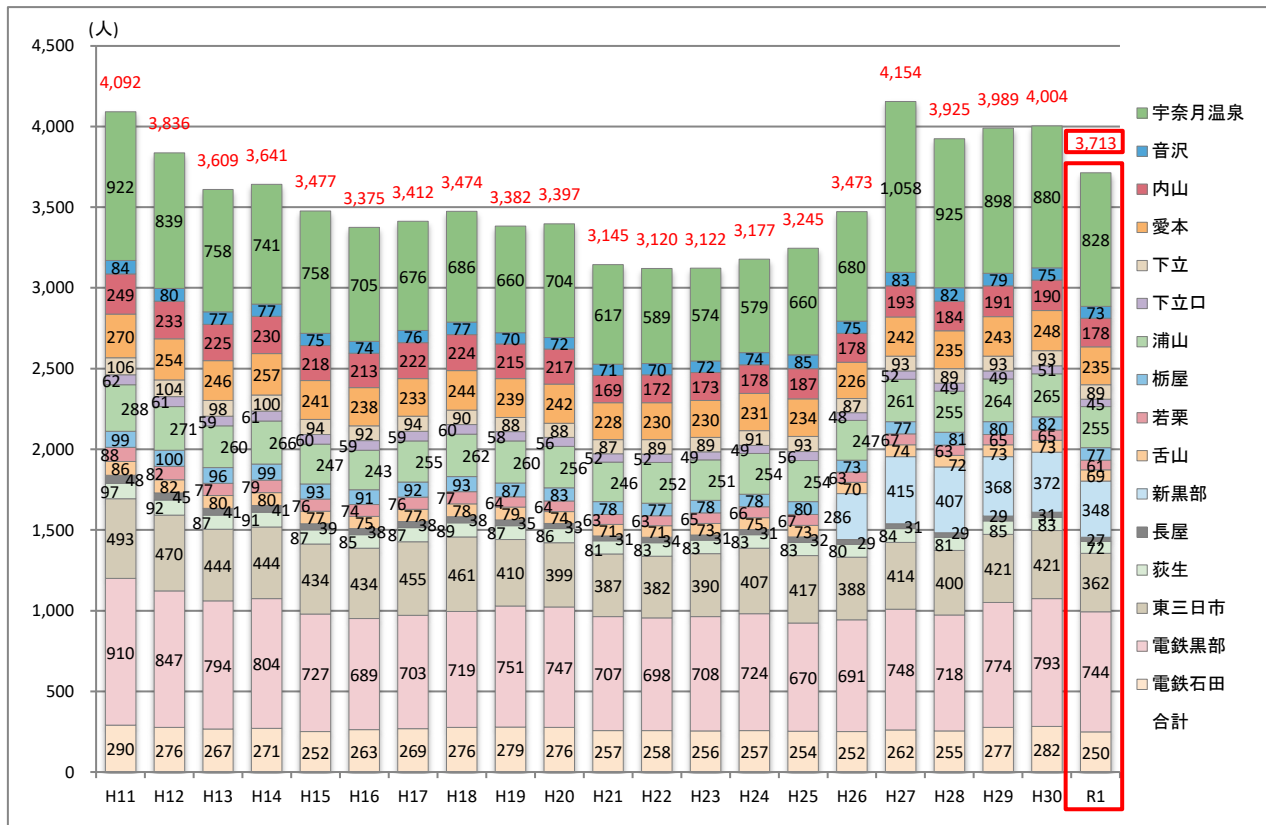


図 富山地方鉄道本線市内駅 1 日あたり乗降客数推移（出典：富山地方鉄道株式会社）

表 富山地方鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比（出典：富山地方鉄道株式会社）

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
電鉄石田	96.7%	101.5%	93.0%	104.3%	102.5%	102.5%	101.1%	98.9%	93.1%	100.4%	99.2%	100.4%	98.8%	99.2%	104.0%	97.3%	108.6%	101.8%	88.7%
電鉄黒部	93.7%	101.3%	90.4%	94.8%	102.0%	102.3%	104.5%	99.5%	94.6%	98.7%	101.4%	102.3%	92.5%	103.1%	108.2%	96.0%	107.8%	102.5%	93.8%
東三日市	94.5%	100.0%	97.7%	100.1%	104.7%	101.3%	88.9%	97.3%	97.0%	98.7%	102.1%	104.4%	102.5%	93.0%	106.7%	96.6%	105.3%	100.0%	86.0%
荻生	94.6%	104.6%	95.8%	97.1%	102.5%	102.5%	97.8%	98.9%	94.2%	102.5%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%	105.0%	96.4%	104.9%	97.6%	86.7%
長屋	91.1%	100.0%	95.7%	96.9%	99.6%	100.4%	92.1%	94.3%	93.9%	109.7%	91.2%	100.0%	103.2%	90.6%	106.9%	93.5%	100.0%	106.9%	87.1%
新黒部															145.1%	98.1%	90.4%	101.1%	93.5%
舌山	97.6%	100.0%	95.7%	98.2%	102.1%	101.7%	101.3%	93.7%	95.9%	100.0%	102.8%	102.7%	97.3%	95.9%	105.7%	97.3%	101.4%	100.0%	94.5%
若栗	93.9%	102.6%	95.8%	98.0%	102.1%	101.6%	83.1%	100.0%	98.4%	100.0%	103.2%	101.5%	101.5%	94.0%	106.3%	94.0%	103.2%	100.0%	93.8%
栃屋	96.0%	103.1%	93.8%	98.5%	100.9%	100.8%	93.5%	95.4%	98.7%	98.7%	101.3%	100.0%	102.6%	91.3%	105.5%	105.2%	98.8%	102.5%	93.9%
浦山	95.9%	102.3%	92.9%	98.6%	104.7%	102.7%	99.2%	98.5%	96.1%	102.4%	99.6%	101.2%	100.0%	97.2%	105.7%	97.7%	103.5%	100.4%	96.2%
下立口	96.7%	103.4%	98.3%	98.9%	100.1%	101.0%	96.7%	96.6%	92.9%	100.0%	94.2%	100.0%	114.3%	85.7%	108.3%	94.2%	100.0%	104.1%	88.2%
下立	94.2%	102.0%	93.6%	97.8%	102.9%	95.5%	97.8%	100.0%	98.9%	102.3%	100.0%	102.2%	102.2%	93.5%	106.9%	95.7%	104.5%	100.0%	95.7%
愛本	96.9%	104.5%	93.7%	98.9%	97.9%	104.7%	98.0%	101.3%	94.2%	100.9%	100.0%	100.4%	101.3%	96.6%	107.1%	97.1%	103.4%	102.1%	94.8%
内山	96.6%	102.2%	94.6%	98.1%	103.9%	101.0%	96.0%	100.9%	77.9%	101.8%	100.6%	102.9%	105.1%	95.2%	108.4%	95.3%	103.8%	99.5%	93.7%
音沢	96.3%	100.0%	97.7%	97.7%	103.9%	100.7%	90.9%	102.9%	98.6%	98.6%	102.9%	102.8%	114.9%	88.2%	110.7%	98.8%	96.3%	94.9%	97.3%
宇奈月温泉	90.3%	97.8%	102.3%	93.0%	95.8%	101.5%	96.2%	106.7%	87.6%	95.5%	97.5%	100.9%	114.0%	103.0%	155.6%	87.4%	97.1%	98.0%	94.1%
合計	94.1%	100.9%	95.5%	97.1%	101.1%	101.8%	97.4%	100.4%	92.6%	99.2%	100.1%	101.8%	102.1%	107.0%	119.6%	94.5%	101.6%	100.4%	92.7%

※緑色は前年対比で増加を示しています。

（４）【路線バス】新幹線市街地線の利用状況

- ・YKK荻生製造所まで延伸した平成29年7月以降において、利用者数は概ね増加傾向にあり、延伸効果が見られます。
- ・令和元年度の年間利用者数は前年度と比較して減少しており、月別にみると前年度より利用者が少ない月が半数を占めています。
- ・また令和元年度では月によって大幅な利用者の変動が見られますが、1日あたりの利用者数は、45人前後となっています。

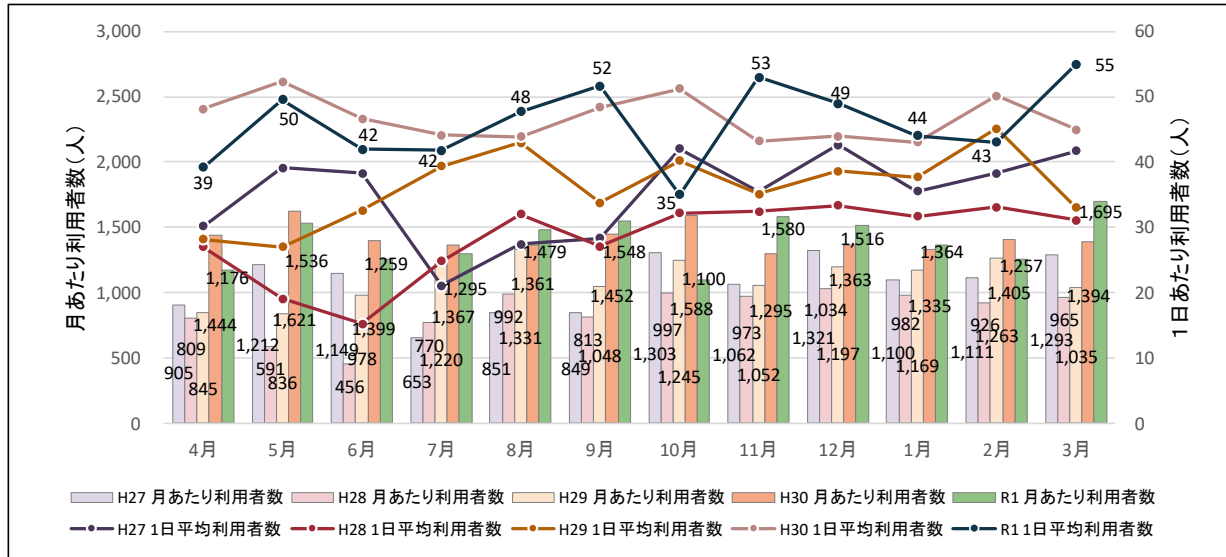


図 新幹線市街地線 月別利用者数の推移

表 新幹線市街地線 年度別利用者数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	12,809	10,308	13,219	17,024	16,805
前年対比	—	80.5%	128.2%	128.8%	98.7%

（５）【路線バス】新幹線生地線の利用状況

- ・系統を増やした平成29年6月以降は、利用者数が大幅に増加しており、平日1日平均100人を超える利用で推移しています。
- ・令和元年度の年間利用者数は前年度と比較して減少しており、月別に見ると4月から8月の4ヶ月以外は前年度を下回っています。
- ・平日の1日あたり平均利用者数は休日の約10倍以上であり、通勤またはビジネスに利用されていると考えられます。

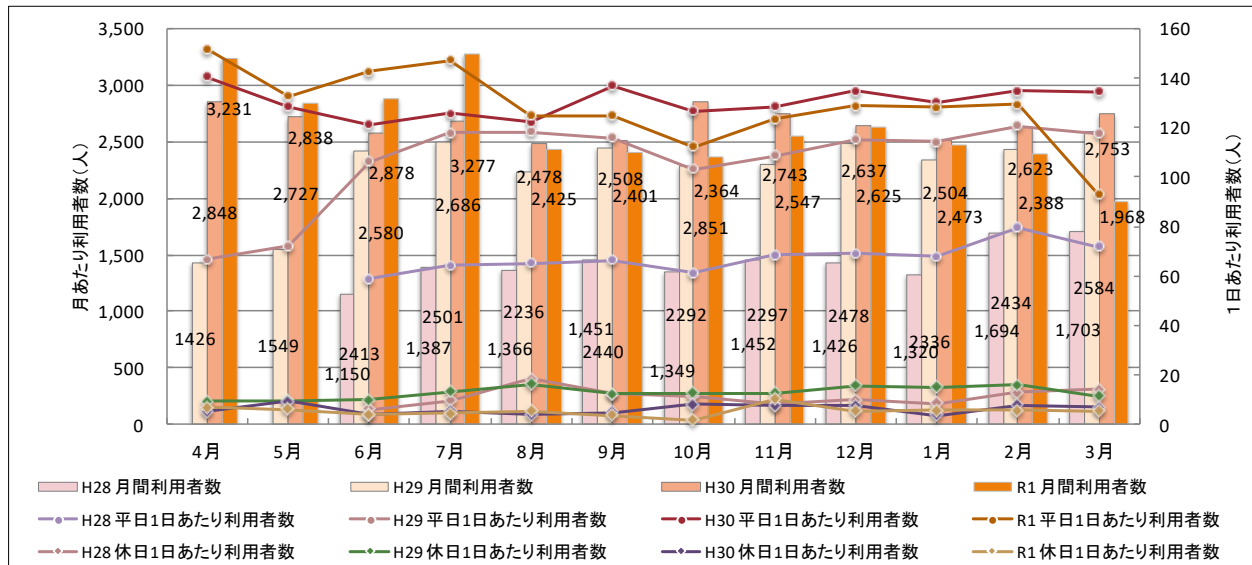


図 新幹線生地線 月別利用者数の推移

表 新幹線生地線 年度別利用者数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	14,298	26,986	31,938	31,415
前年対比	—	188.7%	118.4%	98.4%

（6）【路線バス】 生地循環線の利用状況

- ・ 生地循環線の年間利用者数は、平成26年度までは増加傾向にありましたが、平成27年度からは減少傾向となっています。
- ・ 令和元年度は前年度の利用者数を上回っており、再び増加傾向となっています。
- ・ 令和元年度1日あたり平均利用者数は平成22年黒部市OD調査より求めた基準値（39人/日）を上回っています。

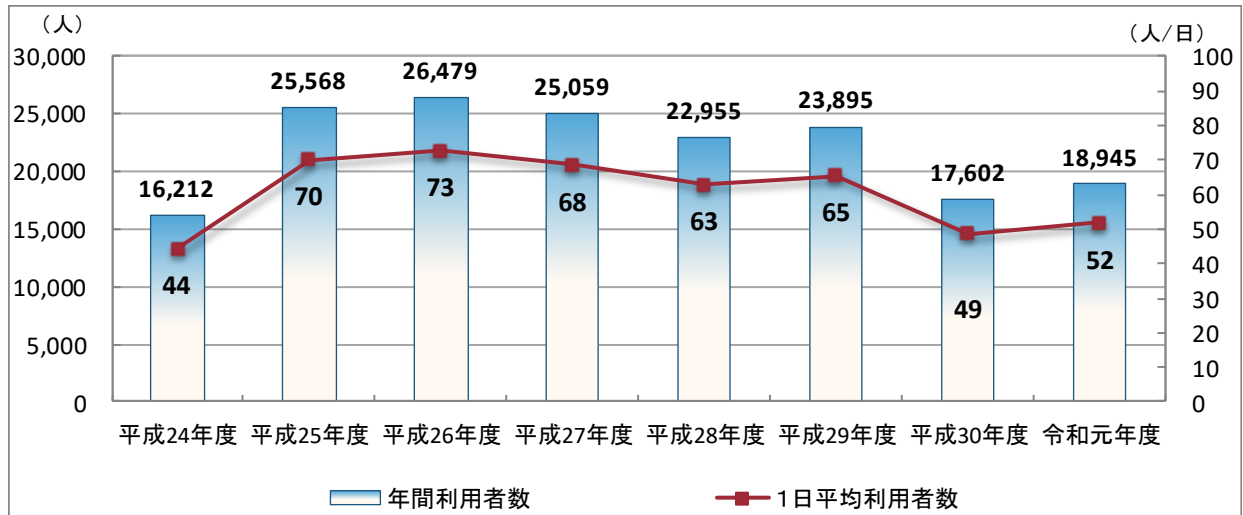


図 生地循環線 年度別利用者数推移

（7）【路線バス】石田三日市線の利用状況

- ・令和元年度の年間利用者数は前年度と比較して減少しており、月別に見ると特に10月以降で前年度を下回る月が多くなっています。
- ・1日あたりの利用者数は、特に8月、1月、3月での落ち込みが著しくなっています。

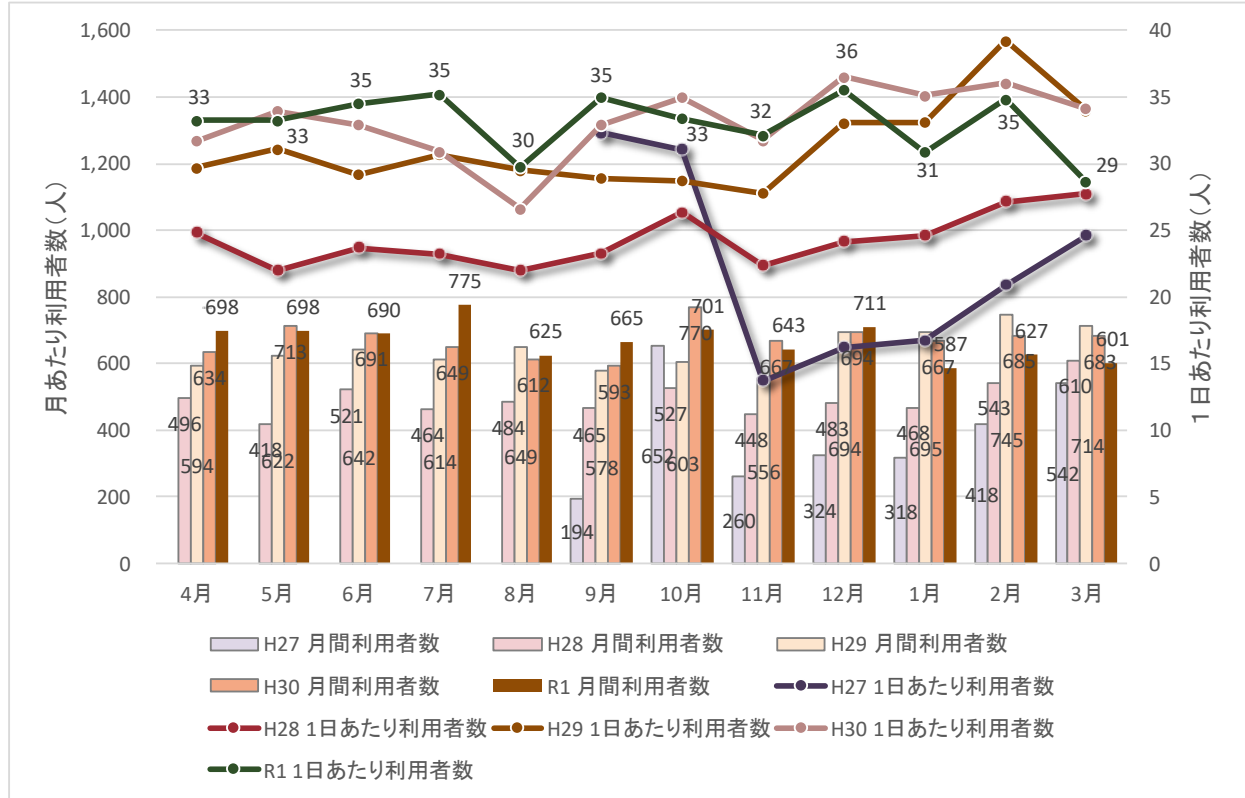


図 石田三日市線 月別利用者数の推移

表 石田三日市線 年度別利用者数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	2,708	5,927	7,706	8,058	8,021
前年対比	—	218.9%	130.0%	104.6%	99.5%

（8）【路線バス】池尻線の利用状況

- ・平成25年度以降は年間利用者数が増加傾向にあります。平成30年度からは平日のみの運行となったものの、年間利用者数は着実に増加しています。
- ・1日平均利用者数も増加傾向にあり、令和元年度は前年度を上回っています。なお、当初計画時の利用者数基準値は14.9人/日となっています。

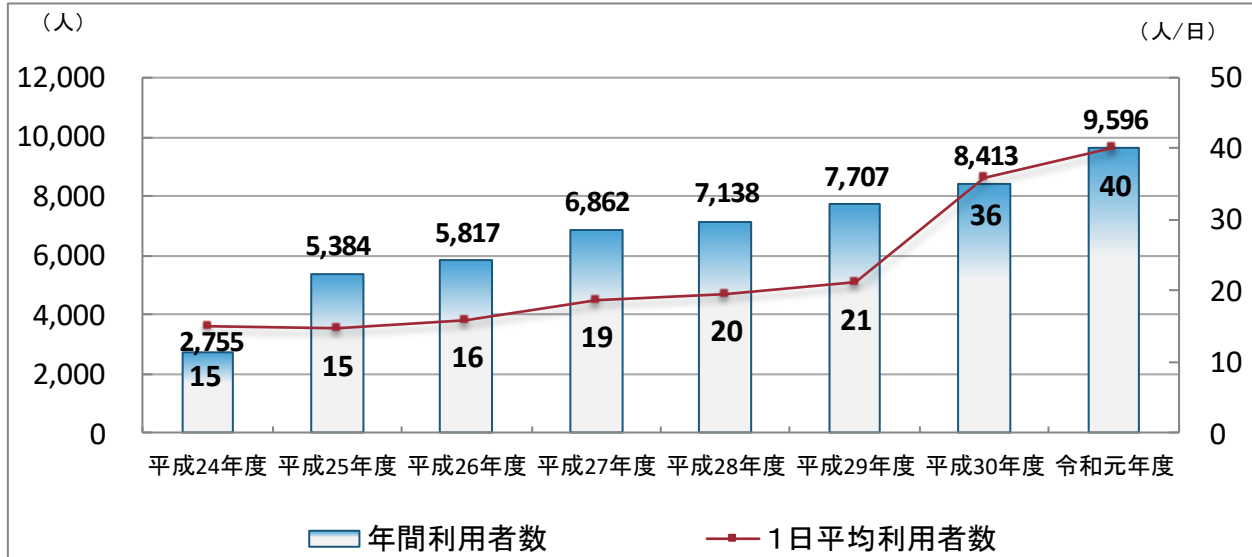


図 池尻線 年度別利用者数推移

（9）【路線バス】南北循環線の利用状況

- ・平成29年10月から本格運行としており、一般利用も含め、令和元年度においては1日あたり400人程度の利用がありますが、前年度と比較して利用者数は減少しています。
- ・当初目標としていました440人/日（YKK社員420人/日、一般20人/日）の利用に対して、社員利用で30人/日程度不足しています。

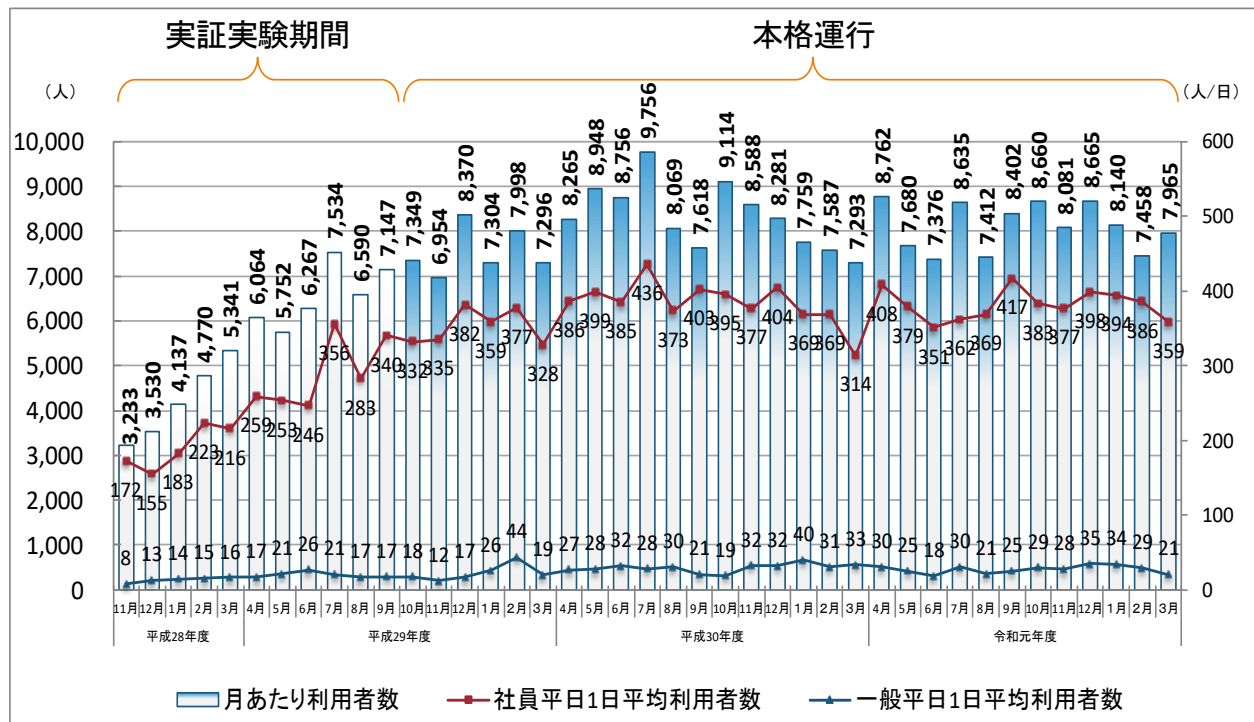


図 南北循環線 月別利用者数推移

表 南北循環線 年度別利用者数推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	21,011	84,625	100,034	97,236
前年対比	—	402.8%	118.2%	97.2%

(10)【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況

- ・令和元年度の年間利用者数は、前年度と比較して減少しています。
- ・令和元年度の月別の利用者数は全体的に350人前後で推移していますが、1月、2月での落ち込みが著しくなっています。
- ・また路線ごとに見ると、愛本フィーダー線の利用者数が他の路線に比べ著しく少なくなっています。

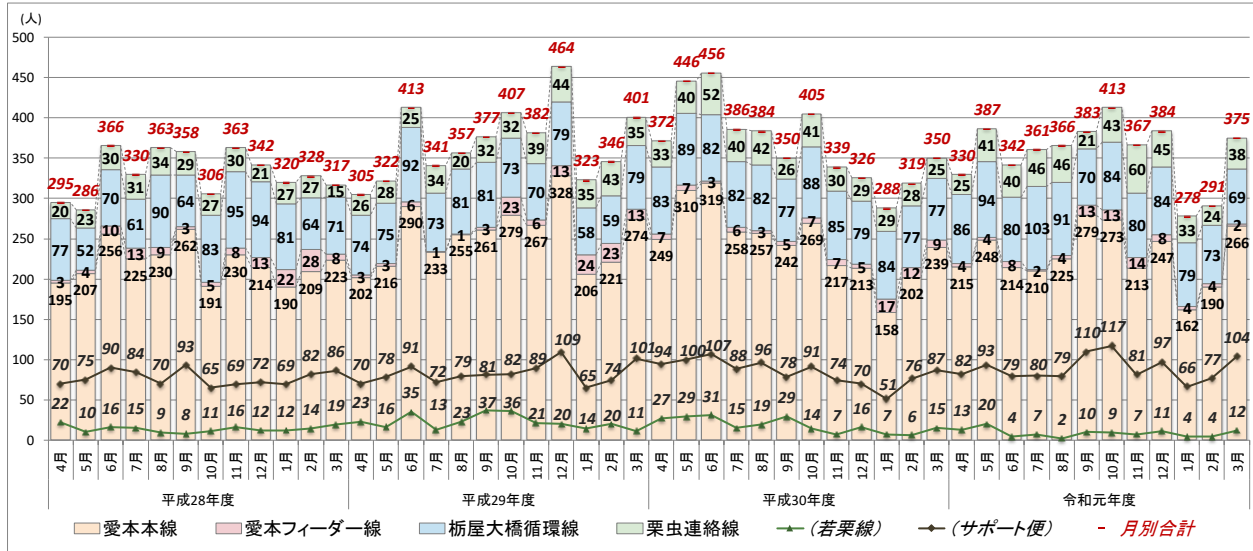


表 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	3,974	4,438	4,421	4,277
前年対比	—	111.7%	99.6%	96.7%

(11)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(田家・前沢地区)の利用状況

- ・平成27年度以降、年間利用者数（全体）は増加傾向にあります。
- ・地区別の利用者数を見ると、平成28年度以降、前沢地区は増加傾向にありますが、田家地区は減少傾向にあります。
- ・また、令和元年で初めて前沢地区の利用者数が田家地区の利用者数を上回っています。

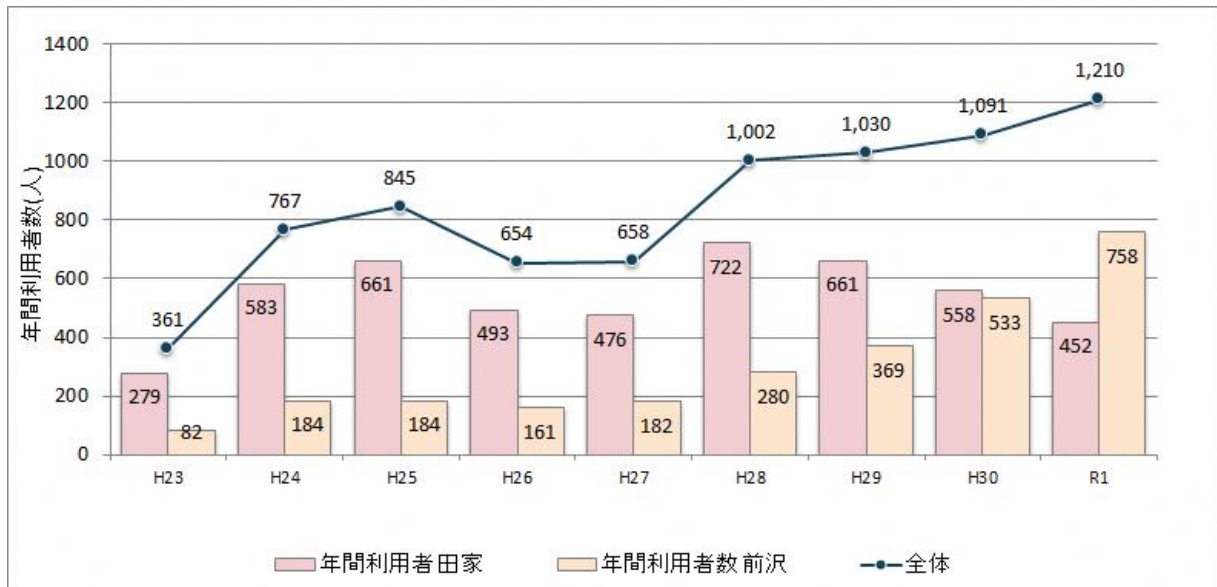


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 年度別利用者数推移

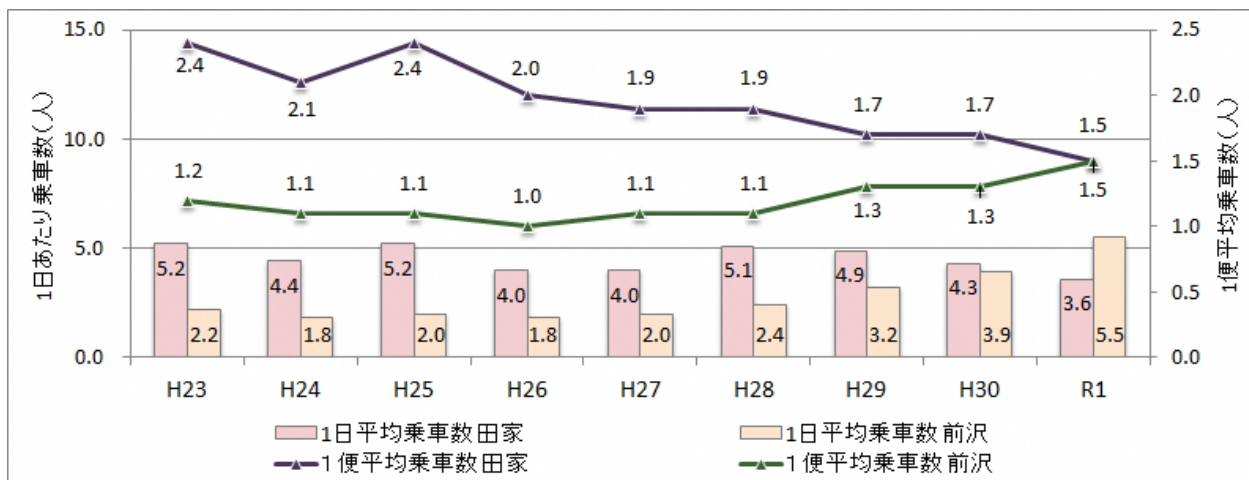


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 1日平均及び1便平均利用者数推移

（12）【コミュニティ交通】デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）の概要と利用状況

- ・平成27年11月の運行開始以降、年間利用者数（全体）は、平成28年度から平成30年度まではほぼ横ばいで推移していましたが、令和元年度で大きく増加しました。
- ・また、地区別の利用者数を見ると、村椿・大布施地区、荻生地区ともに令和元年度は前年度と比較して増加しており、特に村椿・大布施地区の増加が著しくなっています。

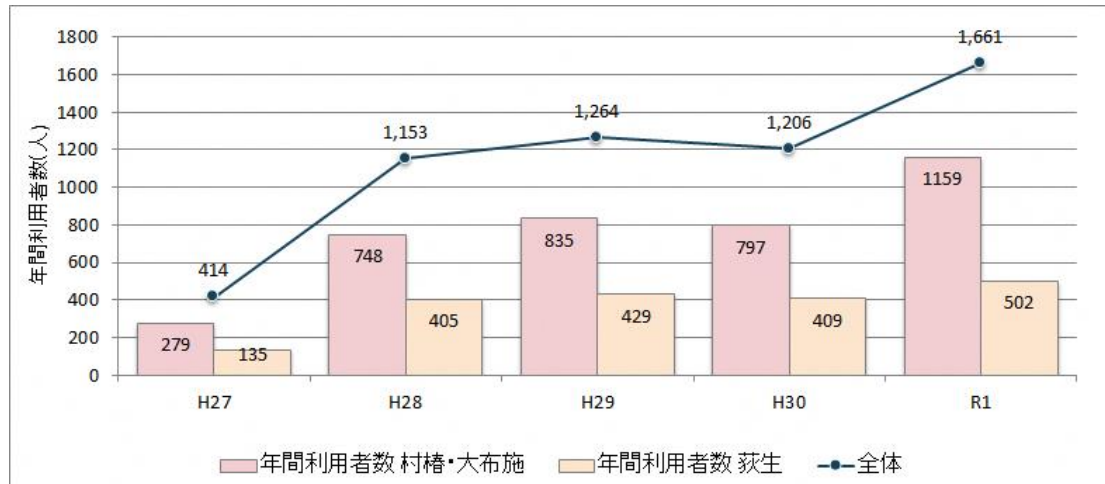


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区） 年度別利用者数推移

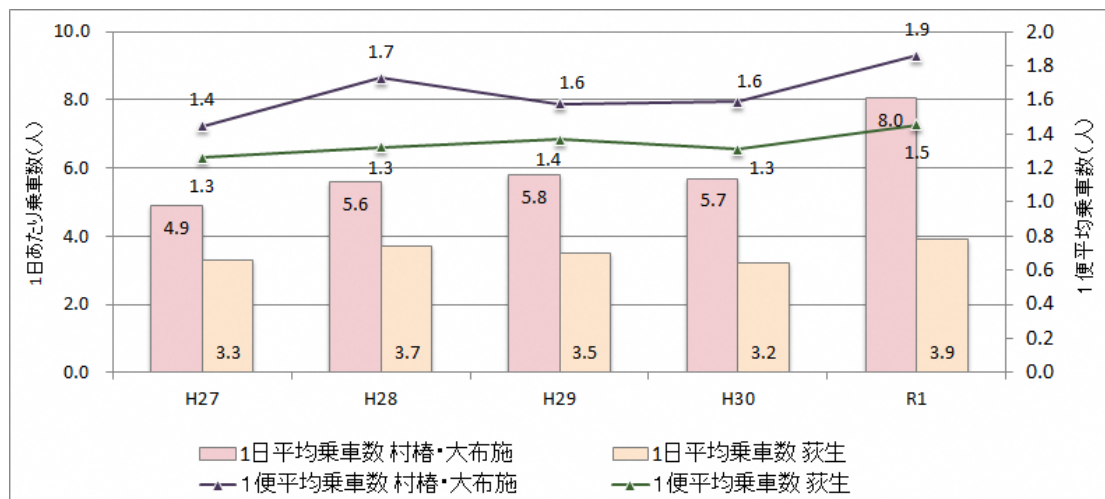


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区） 1日平均及び1便平均利用者数推移